

近藤じゅん子通信 vol.31



区議会公明党が学校での「朝預かり」を提案しました！

第4回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和6年11月25日(趣意)

教育

探究「シブヤ未来科」について

質問 今年度から始まった「シブヤ未来科」は内外から大きな反響、評価をされています。

本格稼働して半年余りですがその成果と実例、また展望をお聞かせください。

答弁 (教育長) 多様な企業や地域と連携した実践事例が生まれ、子供たちにも変化が生じています。

例えば、NPO法人が主催する環境をテーマにしたプロジェクトに参加し、アート作品を通して環境の大切さを訴えたり、MY探究の取組では、「サステナブルな学校を作る」「ランニングシューズはなぜ走りやすいのか」などのテーマを設定し、フィールドワークをしたり、企業を訪問してインタビューをしたりしました。

子供たちにとって、わくわくする楽しい学習になっており、探究の時間を楽しみにしている子供が増えていると実感しています。展望としては、PTA有志が設立した一般社団法人シブタンや、大学と連携し、子供たちの探究学習の伴走支援を充実させ、一人一人の問いを大切にしたい探究プロセスの実践を推進します。

学校での朝預かりについて

質問 保育園の時は、お子さんを7時半から預けていたが、小学校に上がって、登校が8時になり、お友達や知り合いに預け登校させて貰っている保護者がいます。

放課後クラブの朝バージョンがあるとするれば、区としてどれくらい必要があるか調査していただき、必要と判断される学校に地域人材を活用した「学校での朝預かり」を検討していただきたいと思います。

答弁 (教育長) 放課後クラブを利用して保護者を対象にアンケート調査等を行い、ニーズの把握を進めてまいります。

併せて、「学校での朝の預かり」に取り組んでいる自治体から、地域人材を含めた担い手の確保の方法や、事業実施に当たっての課題等について研究を進め、本区における導入の可能性について検討してまいります。



教育データの活用について

質問 渋谷区は、児童生徒、教職員に一人1台のタブレット端末の貸与を始めて、今年で8年目に入りました。

この間蓄積され、解析された教育データの活用の実例をお聞かせください。

答弁 (教育長) 本区における教育データの活用は、全国に先駆けたモデルケースとして国や他自治体の耳目を集めています。

「子供一人一人の幸せの実現」を目的に、現在、教員向けと児童・生徒向けの2種類のダッシュボードを運用しています。

学習面では、教員が可視化されたデータを確認することで、個々の学習をきめ細かく把握することが短時間で可能になりました。生活指導の面では、子供一人一人のデータを確認することで、子供たちが発する小さなSOSを見逃さない取組が定着しています。ダッシュボードの活用によって、子供の心の変化を早期に発見し、いじめや不登校などの未然防止や早期対応につながった事例もあります。

こうした取組は、子供たちの気持ちにも変化を生じさせ、アンケートで「学校に相談できる大人が増える」と回答する児童・生徒が増加するなど、教育データに基づいた支援や指導が、安心・安全な学校づくりにつながっていると

実感しています。

子育て支援

保育士支援について

質問 昨今、渋谷区立保育園の保育士の離職が少なくないと伺っております。

これは働き方の理想とのギャップや、連絡帳のデジタル化などの取り組みがあったものの依然として事務の煩雑さや園内の人間関係に由来するようです。そこで、総合的な分析を行い、手を打つべきと考えます。

答弁 (区長) 現在、保育士のクラス運営に関する相談窓口を子ども発達相談センターに設け、保育士が園長以外にも相談できる体制を構築し、悩みを一人で抱え込まないよう対応しています。

また、保育事務の効率化や事務職の配置により、事務の煩雑さを軽減することや行事の実施方法を見直すこと等、様々な改善策を進めて、保育士が子供たちと向き合う時間を確保しようと努めているところです。



健康

新型コロナウイルスの接種について

質問 新型コロナウイルスワクチン接種については、この秋から定期予防接種と位置付けられました。

今回の対象者は、65歳以上の他、60歳から64歳の人で、心臓・じん臓・呼吸の機能、ヒト免疫のウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活が極度に制限される人「身体障害者1級相当の人」とされています。

高齢者以外で、対象となる方も庁内で連携し、封書による個別のお知らせをしていただきたいと思います。

答弁（区長 議員）ご指摘の通り、新型コロナウイルスワクチンは、今年度から定期予防接種となり、65歳以上の方については、個別に予防票を送付し接種奨励を行っております。

60～64歳の対象者への個別通知については、今後、個人情報取り扱いを踏まえ、区内部のデータを活用した対象者の抽出方法を研究していきます。

私が提案した認知症専門ウェブサイト「しぶや認知症ナビ」がスタート！



令和4年第4回定例会で私が提案した認知症専門サイト「しぶや認知症ナビ」が、渋谷区ホームページに開設されました。

「認知症になっても渋谷区なら大丈夫」をコンセプトに、認知症チェックや、認知症についての学び、認知症サポート事業のご案内、区の支援事業のご紹介、さらには、専門家への相談もできます。

認知症かな？と思ったらまず見に来てほしい、あなたのための「認知症」ポータルサイトです。



しぶや認知症ナビ



マイナンバーカードと健康保険証の紐付けについて



マイナちゃん

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴い、12月2日から、国民健康保険の保険証、高齢受給者証、後期高齢者医療制度の保険証の新規発行が終了し、マイナ保険証を基本とする仕組みへと移行します。
※今お持ちの保険証や高齢受給者証は、記載された有効期限までご利用いただけます。

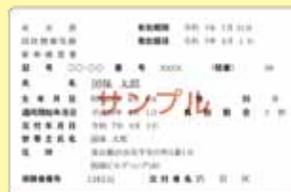
◎マイナ保険証のメリット◎

- ① 転職・結婚・引越ししても、新しい健康保険証等の発行を待たずに、手続き完了次第、医療機関・薬局を利用できます。
- ② お薬の履歴や過去の特定健診の情報が正確に医師に伝わり、総合的な診断や投薬等、適切な処置を受けることができます。
- ③ 高額な医療費が発生する場合でも、一時的に自己負担したり、限度額適用認定証の書類申請手続きをする必要がなくなります。
- ④ 領収証を保管・提出する必要がなく、簡単に医療費控除申請の手続きができます。
- ⑤ 旅行先や出先での急な発症でも、正しい情報を現地の医師に伝えることができます。

マイナンバーカードと健康保険証の紐付けは、区役所3階の専用窓口で行えます。

—マイナ保険証を持っていない方への今後の対応—

マイナ保険証を持っていない方、マイナンバーカードの保険証利用の登録をしていない方には、「資格確認書」(カードサイズ)により、これまで通り医療機関などを受診できます。「資格確認書」は、保険証の有効期限が切れる前に郵送により交付されます。(申請不要)



●75歳以上 ●保険証を紛失した(要申請) ●国民健康保険・後期高齢者医療保険へ新規加入した ●医療費の負担割合が変更になった方々へも「資格確認書」が交付されます。

お問い合わせ先：マイナンバー総合フリーダイヤル **0120-95-0178**
(平日9:30～20:00、(土)・(日)・(祝)9:30～17:30) ※自動音声案内に従って5番を押してください。

ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください —

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 総務委員会
- 自治権確立特別委員会副委員長

渋谷区議会公明党控室
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962
携帯 090-2221-7507



ホームページ



X(旧 Twitter)



Facebook



LINE